

夏のクマに注意！

夏はクマが里地に最も近づく季節です

○ 山の食べ物が少なくなります

夏は、山の中でツキノワグマの食べ物が少なくなるため、人里近くに出没し、人身被害のリスクが高まったり、農作物へ被害を与えたりすることがあります。

○ 若いクマが親離れする時期になり、里地に近づく恐れがあります

夏は1～2歳の子グマが母クマと別れて暮らし始めます。若いクマは人への警戒心が薄く、生活域を求めて里地へ出没する危険性が高まります。

○ クマの交尾期にあたり、特にオスの行動範囲が広がります

6～8月頃にかけて、オスがメスを探すために広い範囲を行動します。

【ツキノワグマ出沒注意報を発出中です！！】

注意報を発出していない南信州でも引き続きご注意ください。

＜ツキノワグマ出沒注意報＞（令和7年7月28日時点）

○北アルプス地域：7月31日（木）まで



＜里地へクマを近づけない対策を！＞

- ・畑や果樹園等の周囲には、電気柵を設置したり、周辺のヤブをあらかじめ刈り払うなど、クマを寄せ付けない対策をとしましょう。
- ・生ゴミは、クマにとって栄養価の高い食べ物です。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身被害の可能性が高まります。長時間屋外に放置しないように適切に管理をしてください。
（クマが誘引される物：漬物、廃油、油性塗料、燃料 等）

＜クマと遭遇してしまったら…「あわてず落ち着いて行動」することが重要です＞

○遠くにいる場合

- ・静かにその場から立ち去る（クマが先に人に気付けば、ほとんどの場合クマの方から逃げる）。

○近くでバッタリ遭遇してしまった場合

- ・背中を見せて逃げるのは禁物（逃げる物を追いかけるのはクマの本能）。
- ・大声で叫ばない。石などを投げつけない。ゆっくり後ずさりして離れる。

○襲ってきた場合

- ・急所である顔や喉、後頭部や腹を守る姿勢（地面に伏せ両手で首の後ろを守る等）をとる。
- クマに遭遇してしまった場合の正しい対処法やとってはいけない危険な行動を紹介中です。
（以下の URL 又は二次元コードからご視聴ください）。

【視聴方法】YouTube にて視聴いただけます。

(<https://www.youtube.com/watch?v=16h5dRID1LU>)



山に入るときはクマに注意！

山の中では、いつ、どこでクマと遭遇してもおかしくありません。
遭遇しないための対策を必ず行いましょう！

◇ 朝夕の行動は避ける。複数人で行動する。

朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入るとは避けましょう。

◇ クマ鈴、笛、ラジオの携帯を

クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。
人の気配を感じたクマは自ら避けてくれます。
笛、ラジオ、クマ避け鈴など音の出る物を携帯しましょう。



◇ 周囲に十分注意する

山菜はクマの好物です。山菜のある場所には、クマもいる可能性があります。
特に溪流沿いは水の音で、クマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがありますので注意が必要です。

◇ クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、引き返しましょう。

◇ 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。



◇ 生ゴミなどを放置しない

生ゴミなどもクマを呼び寄せてしまいます。生ゴミに餌付いたクマは人を怖がらなくなり、大変危険です。埋めても掘り返すため生ゴミは持ち帰りましょう。
なお、餌付け行為は絶対しないでください。

◇ 犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとしますが、一緒にいる犬に吠えられるなどして、人へ攻撃をする場合があります。

◇ 不意の遭遇に備えて

注意をしてもクマと遭遇してしまった場合、ヘルメットを着用していると頭部の被害を軽減できます。襲われたら地面に伏せ、両手で首の後ろを守りましょう。